

本郷次雄先生をしのぶ

佐野 悦三（佐野書店店主）

1 本郷先生サイン入りの図鑑

手元にまだ新しい「原色日本新菌類図鑑 Ⅰ・Ⅱ」がある。二冊とも見返しに、「於泉自然公園、2002年10月12日、本郷次雄」とサインが入っている。2002年秋、千葉市の泉自然公園で開かれた観察会に来られた本郷先生にサインしていただいたものだ。多数の参加者で落ち着かない中、先生は快くサインに応じてくださった。お名前だけを書かれると思っていたところ、日付と場所まで書いてくださり感激したことを懐かしく思い出す。

2 顕微鏡図も載せた本格的きのこ図鑑、「本郷図鑑」

通称「本郷図鑑」と呼ばれているこの今関六也・本郷次雄編著「原色日本新菌類図鑑 Ⅰ・Ⅱ（1987・1989）保育社」は、検索表や顕微鏡図も載せる本格的きのこ図鑑だ。2冊で1000種を超えるきのこを解説し、うち993種は原色図を載せる。出版後20年ほどたち、内容が古くなったところもあるが、国内にはこの図鑑と最近出版された「北陸のきのこ図鑑」以外には顕微鏡図付きの本格的なきのこ図鑑はなく、まだまだ現役である。1999年、出版元の保育社が会社更生法を申請、事実上倒産し、本郷図鑑が絶版になるといううわさが流れ、あわてて2組目を購入した。サインしていただいたのはこの2組目の図鑑である。大切にしている。

3 最後の監修、池田良幸著「北陸のきのこ図鑑」

2005年7月、本郷先生の監修で池田良幸著「北陸のきのこ図鑑」が出版された。本郷図鑑以来18年ぶりの顕微鏡図も載せる本格的図鑑である。本郷図鑑を上回る1403種を原色図・顕微鏡

図をつけて解説する。

本郷先生は、その序文で「想像を超えた、すばらしいきのこ図鑑」と最大限の賛辞を贈られた。著者の池田良幸氏は金沢の人、本郷先生の指導を受けながら50年以上、きのこの研究を続けてこられた篤学の士である。商業ベースでは出版を引受けるところがなく、著者池田氏が費用全額を負担した自費出版である。本書の出版の後、本郷先生は体調を崩され、この図鑑が最後の監修となってしまった。

4 日本にも「スイス菌類図鑑」に匹敵する優れた図鑑を！

本郷先生はかねて「日本の菌学は欧米に比べ百年遅れている」と話されていた。図鑑を見てもそのことは明らかだ。国内には顕微鏡図も載せる本格的きのこ図鑑は上述の2種しかないが、外国、特に博物学の伝統を持つヨーロッパには何種もの本格的きのこ図鑑がある。その中で特に知られているのは通称「スイス菌類図鑑」と呼ばれる全6巻の「Fungi of Switzerland」である。6巻でなんと5千種ものきのこを原色写真、顕微鏡図をつけ解説する。

本郷先生亡き後、吹春先生など後に続く研究者の方々がその志を継いで日本の菌類フロラを明らかにし、スイス菌類図鑑に匹敵するすばらしいきのこ図鑑をつくれることを切に願う。

備考：池田良幸著「北陸のきのこ図鑑」税込み15,000円。「Fungi of Switzerland」全6巻、各巻税込み13,000～16,260円。佐野書店（通信販売専門のため店舗はありません）で購入可能。

FAX：043-489-7178

E-mail：e_sano@d2.dion.ne.jp

URL：http://sanoshoten.blog13.fc2.com/